



平成23年11月17日

### 伊藤英司特命教授ブリッジマン賞を受賞

#### <概要>

地球物質科学研究センターの伊藤英司博士（岡山大学名誉教授・特命教授）が、インド国ムンバイで開催された第23回高圧力の科学と技術に関する国際会議（AIRAPT）において、日本人として3人目となる Bridgman Award（高圧科学の進展に大きな貢献をした研究者に贈られる高圧研究において最高の国際的な賞）を9月26日に受賞しました。

#### <本文>

地球物質科学研究センターの伊藤英司博士（岡山大学名誉教授・特命教授）が、2011年の Bridgman Award を受賞しました。同賞は世界各国が持ち回りで隔年ごとに開催する「高圧力の科学と技術に関する国際会議」（AIRAPT）で、高圧科学の進展に大きな貢献をした研究者に贈られる高圧研究において最高の国際的な賞です。この賞は、高圧研究で1946年度のノーベル物理学賞を受賞した P. W. Bridgman を記念して1977年に創設されました。過去の受賞者の中には、「鉱物物理学の父」とも呼ばれる F. Birch をはじめ著名な研究者が名を連ねています。日本人では故箕村茂東大教授（1991年）、八木健彦東大教授（2007年）に次いで3人目になります。

伊藤博士は一貫して川井型マルチアンビル高圧実験装置による地球深部物質科学研究を先導されてきました。最も代表的な業績として、地球下部マントルの主要構成物質である  $\text{MgSiO}_3$  ペロブスカイトの合成・相平衡・熔融関係、単結晶を用いた弾性測定、さらに生成エンタルピーと比熱の測定が挙げられます。また、実験技術・装置の開発にも心血を注いでこられております。近年では焼結ダイヤモンドをアンビル材に利用することにより、実験可能圧力領域の大幅な拡大に成功しており、100 GPa 領域での実験を可能にしております。また、日本で発展した川井型マルチアンビル高圧実験技術を米国や欧州に普及する際にも決定的な貢献をされております。

これらの業績が国際的に高く評価されて今回の受賞者に選ばれました。授賞式と受賞記念講演は、本年9月26日、第23回 AIRAPT（インド、ムンバイ）の公式行事として行われました。

#### <お問い合わせ>

岡山大学地球物質科学研究センター准教授 米田 明

（電話番号）0858-43-1215

（FAX番号）0858-43-2184